

# I 議 案 書

## 議案第1号 平成29年度事業報告について

### 平成29年度事業報告（案）

本協会は、「循環型社会のデザイナー」から「持続可能社会のデザイナー」へ事業領域拡大をめざし、平成28年5月に「第4期将来ビジョン2016-2025」を策定した。このビジョンに基づき循環型社会形成を基軸とした低炭素社会、自然共生社会形成との統合的アプローチの推進を今後図っていくための準備活動を進めた。

また、公益法人改革法令の規定に基づく公益目的支出計画については、計画期間の最終年度の平成28年度末に公益目的財産額に残余が発生したため計画を1年延長し、平成29年度において公益目的事業として専門委員会による自主調査研究、環境省地方環境事務所と連携した自治体職員向け廃棄物処理施設整備セミナー、技術セミナー・技術発表会及び海外プロジェクトセミナーを実施した。

上記の活動のほか、平成29年度は、主として以下の活動を行った。

○環境省の要請により、平成29年7月に九州北部豪雨で被災した朝倉市における災害廃棄物対策の初期支援活動を行うD. Waste-Net チームメンバーに参画し協力を行った。また環境省との意見交換会では、環境省から国の重点施策、予算の説明が行われ、協会からは、要望事項、廃棄物コンサルタントの活用について等の説明を行い、意見交換を行った。

○(公社)全国都市清掃会議からの要請を受けて、「ごみ処理施設整備の計画・設計要領(2017版)」の作成に対し、全面的に協力する体制を構築して実施した。同要領は平成29年4月に刊行された。

○会員技術者の技術力の向上、人材育成を図るため、検討委員会による調査研究、技術士試験対策講座、若手職員を対象とした技術者研修講座、施設見学会等の共益事業を実施した。

○日本廃棄物団体連合会に参画し、その活動に連携を図るとともに、環境省、国土交通省、関係団体の国際的な取組み及び関係団体のイベント開催等の情報交換を通じ、連携を図った。

○会長が地方会員会社を訪問し、協会活動に関する意見交換を行った。

また、当協会の広報活動として、例年どおり、都道府県、23区・市、組合等合わせて1,500余の地方自治体に対し、「協会のご案内」、「会員名簿」等を送付し、会報「廃コン協」は、都道府県、人口20万人以上の市に送付するなど協会活動への理解を深めるよう努めた。合わせて協会ホームページにより、随時、情報提供に努めた。

## 1. 第4期将来ビジョンの推進

我が国の持続可能社会の形成に貢献するコンサルタント集団を目指し、平成28年5月に協会第4期将来ビジョン2016-2025「持続可能社会のデザイナーをめざして」を策定した。これまでの循環型社会のデザイナーをめざした活動から、安心を基盤とする循環型社会、低炭素社会、自然共生社会の統合に向けた活動へと領域を拡げた取組みを強化するための基本方針、アクションリストとロードマップから構成される。この新ビジョンの推進を図るため中期行動計画2020を策定し、さらに年次行動計画を平成28年度から毎年度、策定するとともに中期行動計画推進委員会によりフォローアップを行っている。さらに平成29年度には、低炭素社会・自然共生社会推進を専門としている会員会社のコンサルタントを招致し、二度にわたる意見交換を行って今後の対応について検討を行った。

## 2. 調査研究

### (1) 廃棄物・資源循環マネジメント技術に関する調査研究（公益事業）

#### ① 人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方専門委員会(H27～30)

主査：中石一弘 対外活動部会委員（(株)エックス都市研究所）

委員会活動は、平成29年度でほぼ終了し、平成30年度に報告書を作成する。

検討した項目は、以下のとおり。

- ・我が国における人口減少による廃棄物処理施設への影響・課題
- ・人口減少社会における既存ごみ量推計方法の検証
- ・人口減少社会における今後の一般廃棄物処理施設整備のあるべき姿
- ・ケーススタディ

#### ② 災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会(H28～30)

主査：眞鍋和俊 技術部会委員（応用地質(株)）

副主査：上田淳也 パシフィックコンサルタンツ(株)

副主査：後藤久美子 八千代エンジニアリング(株)

副主査：林正樹 (株)建設技術研究所

災害廃棄物の切れ目のない対応を実現するため、事前対応、初動・応急対応支援等について、平成28年度から新規に調査研究に着手した。平成29年度で委員会活動はほぼ終了し、平成30年度に報告書を作成する。主な検討項目は、以下のとおり。

- ・災害廃棄物処理計画のあり方
- ・D. Waste-Net への対応方法
- ・人材育成の手法

#### ③ 最終処分場標準発注仕様書等作成専門委員会(H29～H31)

主査：宇佐見貞彦（八千代エンジニアリング(株)）

副主査：松本良二（八千代エンジニアリング(株)）

副主査：纈纈卓也（(株)エイト日本技術開発）

副主査:大野文良(パシフィックコンサルタンツ(株))

副主査:古田秀雄((株)建設技術研究所)

最終処分場の維持管理に係るガイドラインは、基準省令以外に広く周知されたものがないのが実態であり、専門家の知見を集約し、現場で使いやすい維持管理に係る標準的マニュアル等を作成・周知する。また、近年はPFIやDBO等による維持管理を含めた発注や長期包括民営委託方式による維持管理の委託例も多くなっており、最終処分場の工事発注仕様書や要求水準書に適切な維持管理のための条項等を記載することも必要であり、最低限の標準化を推進する。主要な検討項目は、以下のとおり。

- ・最終処分場建設工事標準発注仕様書(土木建築編)
- ・最終処分場建設工事標準発注仕様書(水処理編)
- ・最終処分場整備・運営事業標準要求水準書
- ・最終処分場標準維持管理マニュアル

## (2) 検討委員会による調査研究

### ① 廃棄物コンサルタント業務の品質向上に関する検討委員会その2(H28～)

主査:西山勝栄 技術部会委員((株)建設技術研究所)

品質向上に関する検討委員会その2は、最終処分場に関するコンサルタント業務について基本構想、基本計画・基本設計業務、詳細設計の各業務段階において留意すべき品質確認項目の抽出・整理を行い、品質チェックポイントシートの作成を行い、報告書を平成29年10月に取りまとめるとともに各業務でチェックを行うことが可能なエクセルシートを会員に送付した。

## (3) ごみ処理施設整備の計画・設計要領(2017版)の作成協力

(公社)全国都市清掃会議より依頼を受けて、標記図書の前稿作成に協力した。西川会長が作成委員会委員として参加するとともに技術部会内に、10社22名のコンサルタントを3班編成で構成する執筆作業部会を設けて実施した。

## 3. 人材育成、技術の普及啓発

### (1) 講習会等人材育成事業

#### ① 技術士試験対策講習会(担当:森智志 委員((株)NJS、前田伊瑞実 委員(応用地質(株))、入佐孝一 委員(八千代エンジニアリング(株)))

衛生工学部門廃棄物管理の二次試験受験者を対象に、例年どおり、受験申込期間内に開催し、業務経歴票の作成ポイントも解説した。

○ 日 時: 平成29年4月18日(火) 14:00-17:00

○ 場 所: 協会会議室

○ 参加者: 13名

○ 講習会の科目と講師

・挨拶

日高 彰

技術部会長

- ・総論、試験対策のポイント 前田 伊瑞実 技術部会委員
- ・合格者体験談 宇佐美 雅仁 中日本建設コンサルタント(株)

② 技術者研修講座 (担当：森智志 委員((株)NJS、入佐孝一 委員(八千代エンジニアリング(株))、斉藤文夫 委員((株)環境管理センター))

若手技術者の基礎技術力の向上を目指し、技術者研修講座を開催した。前年度同様中日に施設見学会を設け、リフレッシュを行いつつ学習意欲増進を図った。講師は、技術部会委員を中心として協会役員、会員会社のベテランのコンサルタント 11 名が務めた。

- 日時： 平成 29 年 8 月 29 日 (火) ～8 月 31 日 (木)
- 場所： エステックビル会議室
- 参加者： 13 名
- プログラム：次表のとおり

日程	時間	講義内容	講師	備考
8 月 29 日 (火)	10:00～10:15	開講	宇佐見 貞彦	技術部会長
	10:15～11:15	コンサルタント業務について	宇佐見 貞彦	八千代エンジニアリング
	11:20～12:50	中間処理	入佐 孝一	八千代エンジニアリング
	12:50～14:00	(昼食・休憩)		
	14:00～15:15	廃棄物処理の現状と法制度	小林 陽一	エックス都市研究所
	15:20～16:20	収集運搬	中山 伸吾	エイト日本技術開発
	16:30～17:30	会長講話	日高 彰	会長
	18:00～20:00	意見交換会	受講生と講師	
8 月 30 日 (水)	9:30～10:30	生活排水管理	森 智志	NJS
	10:35～12:05	最終処分	古田 秀雄	建設技術研究所
	12:05～12:55	(昼食・休憩)		
	14:00～16:30	施設見学会(新武蔵野クリーンセンター)	講習会担当者と講師	
8 月 31 日 (木)	10:00～11:30	廃棄物管理計画	鈴木 修	エックス都市研究所
	11:35～12:35	廃棄物の測定・分析	長谷川 亮	環境管理センター
	12:35～13:25	(昼食・休憩)		
	13:25～14:40	災害廃棄物処理対応の在り方	眞鍋 和俊	応用地質
	14:45～15:45	海外コンサルタント業務について	石井 明男	八千代エンジニアリング
	15:45～15:50	研修のまとめ	森 智志	NJS
	15:50～16:00	閉講(修了証授与)	岩下 信一	副部会長

③ 施設見学会

平成 29 年度の施設見学会は、「まちに溶け込む次世代型環境文化施設」という新しいコンセプトに基づき平成 29 年 4 月に竣工したばかりの新武蔵野クリーンセンターを見学し

た。

- 日時：平成 29 年 7 月 7 日（金）
- 見学先：新武蔵野クリーンセンター
- 参加者：21 名（事務局を含む）

## （2）技術の普及・啓発事業

### ① 廃棄物処理施設整備セミナー（公益事業）（担当：宇佐見 貞彦 部会長）

本セミナーは、平成 22 年度から、環境省の地方環境事務所と共催により自治体の廃棄物処理施設整備担当者を対象に実施してきた。平成 26 年春までに全国の 7 事務所との共催セミナーは一巡し、平成 26 年秋からは、第二巡目に入っている。平成 29 年度は、環境省北海道地方環境事務所との共催セミナーを開催した。

- 日 時：平成 29 年 9 月 28 日（木）13：30～16：30
- 場 所：札幌市 TKP 札幌駅カンファレンスセンター
- 参加者：49 名（管内市町村、組合及び道庁）
- プログラム：

北海道地方環境事務所からの情報提供

「廃棄物処理施設整備に係る交付金の状況及び関連動向について」

北海道地方環境事務所 環境対策課 廃棄物対策等調査官 高玉 正二

廃コン協働の講義

・「PFI・DBO 手法の概要及び導入における留意点」

講師：日高 彰 会長

・「廃棄物処理施設整備事業（最終処分場）計画の策定における留意点」

講師：古田 秀雄 技術部会委員

### ② 技術セミナー・技術発表会（公益事業）

（担当：鈴木 修委員（株）エックス都市研究所）、斉藤 文夫委員（株）環境管理センター）

例年どおり技術セミナーと技術発表会の同日開催を行った。技術セミナーは、「廃棄物処理分野における IoT の活用と可能性」をテーマとして取り上げ、学識者の基調講演の後、プラントメーカーとコンサルタントから事例紹介・解説を行った。発表会は、件数が少なめであったが、内容の濃い発表であった。

- 日時：平成 29 年 11 月 29 日（水）13:15～17:20
- 場所：エッサム神田 1 号館 201 号
- 参加者：52 名
- プログラム：

開会挨拶 技術部会副部会長 岩下 信一

第 1 部 技術セミナー

テーマ「廃棄物処理分野における IoT の現状と将来の展望について」

基調講演 「廃棄物処理・リサイクル分野における IoT の活用の可能性」

講師 小野田 弘士 早稲田大学大学院 環境・エネルギー研究科 教授  
事例紹介・解説

1) プラントメーカ

「ごみ焼却施設ビッグデータ活用による最適運転管理に向けて」

講師 家山 一夫

日立造船(株) 環境事業本部 開発センター長(執行役員)

2) コンサルタント

「IoT 活用と廃棄物コンサルタントの役割」

講師 山口 直久

(株) エックス都市研究所サスティナビリティ・デザイン事業本部  
環境リスク管理チーム チームリーダー

第2部 技術発表会

1 D. Waste-Net における H29 年 7 月九州北部豪雨での活動報告

花嶋 孝生 (応用地質(株))

2 災害廃棄物処理における進捗管理と仮置場の運用計画

佐湖 俊之 (応用地質(株))

3 使用済自動車の解体調査による資源性物質の車種間の比較

牛 鑫 ((株)環境管理センター)

4 熊本地震災害廃棄物の二次仮置場における処理監理報告

藤田 倫子 ((株)建設技術研究所)

【専門委員会報告】 技術部会副部会長

- ・人口減少社会における廃棄物処理施設のあり方検討専門委員会
- ・災害廃棄物処理に関する廃棄物コンサルタントのあり方専門委員会

【技術発表会表彰式】 優秀賞 花嶋 孝生

4. 対外活動

(1) 「平成 29 年度版 廃棄物コンサルタントの活用について」の作成

「廃棄物コンサルタントの活用について」は、発注者への要望、意見等をリーフレットに  
まとめ環境省意見交換会、全都清イベント等で配布した。

「廃棄物コンサルタントの活用について」の構成

- ・技術力に基づくコンサルタントの選定
- ・発注方式の選定手順
- ・品質向上対策
- ・最近の協会活動

(2) 環境省との連携

① 意見交換会

平成 30 年 1 月 15 日に環境省の廃棄物適正処理推進課と協会正会員役員・対外活動  
部会委員とで意見交換会を行った。協会からは、入札・契約の手引き改正、計画支援

事業の標準仕様・積算基準の策定について要望したほか中長期的な一般廃棄物処理システムについての意見、新ビジョンと上記資料によるコンサルタント業務の課題を説明し、環境省からは平成 29 年度予算要求の説明を受け、意見交換を行った。

② D. Waste-Net

環境省からの要請を受け平成 29 年 7 月の九州北部豪雨に係る初期活動を行う D. Waste-Net チームのメンバーとして福岡県朝倉市に延べ 4 名のコンサルタントを派遣した。

第 1 週 上田 淳也(パシフィックコンサルタンツ(株))

佐々木 未穂(東和テクノロジー(株))

第 2 週 花嶋 孝生(応用地質(株))、籠谷 純一((株)エイト日本技術開発)

また、平成 29 年 11 月 22 日に環境省が主催した復旧・復興支援グループの交流会に参加し、今後の連携方法等について意見交換を行った。

(3) 自治体への支援、広報活動

公益社団法人全国都市清掃会議の総会、評議員会等の行事に併設した活動、地方環境事務所と共催した施設整備セミナーに併設した活動を、以下のとおり行った。

① 総会・秋季評議員会(平成 29 年 10 月 26 日に帯広市で開催)

展示コーナーを設け、ポスター、協会パンフ、廃棄物コンサルタントの活用について、積算資料(案)等の資料を展示し、PR を行った。

② 全国都市清掃研究・事例発表会(平成 30 年 1 月 24 日～25 日に山形市で開催)

施設整備に関する相談コーナーを設置するとともに上記と同様の資料展示を行った。

③ 廃棄物処理施設整備セミナー

北海道地方環境事務所と共催した標記セミナーを開催し、自治体職員に技術情報を提供するとともに、相談コーナーを設け、相談員を配置し、自治体職員の施設整備に関する個別相談に対応した。

(4) 関係機関、関係団体への協力、委員等の派遣

【環境省検討会への委員派遣】

平成 29 年度災害廃棄物対策推進検討会 技術・システム検討 WG 委員

高田 光康 ((株)東和テクノロジー)

【日本廃棄物団体連合会】

監事 加藤 秀平 専務理事

【(一社)廃棄物資源循環学会】

・評議員 西川 光善 会長

・理事 森 孝信 副会長

【(公財)産業廃棄物処理事業財団】

・評議員 加藤 秀平 専務理事

・原状回復特定事業に関する調査会委員 加藤 秀平 専務理事

【(一社)廃棄物処理施設技術管理協会】

・技術管理者等 CPDS 認定技術者試験委員会委員 宇佐見 貞彦 対外活動部会長

・環境技術会誌編集委員

森 智志 技術部会委員

(5) 大学におけるコンサルタント業務説明会

平成 29 年度は、以下の 2 大学の衛生工学・環境工学系学科を訪問し実施した。

① 明星大学 理工学部総合理工学科

平成 29 年 12 月 14 日 (木) 10:45~12:15 参加者 13 名

② 首都大学東京 環境学部都市基盤環境コース

平成 30 年 1 月 19 日 (金) 13:00~14:30 参加者 25 名

両大学への説明会における協会の説明者と説明内容は、以下のとおり。

説明者 小棚木 修 対外活動部会長、豊口 敏行 対外活動副部会長

若手コンサルタント

明星大担当 牛鑫 ((株) 環境管理センター)

首都大学東京担当 梅沢 元太 (八千代エンジニアリング (株))

説明内容

- ・廃棄物コンサルタントの業務
- ・若手コンサルタントによる実務体験紹介
- ・協会の紹介

5. 国際協力

(1) 海外プロジェクトセミナー (公益事業)

本セミナーは、(一社) 海外環境協力センター (OECC) との 7 回目の合同セミナー、廃コン協の海外プロジェクトセミナーとして 22 回目の開催となった。会員への案内に加え、HP で一般に案内し、公開セミナー「成功事例から考える有機ごみの資源利用」を実施した。

○ 日 時：平成 30 年 2 月 13 日 (火) 午後 13:30~17:00

○ 会 場：エッサム神田ホール 1 号館 301 会議室

○ 参加者：56 名

○ プログラム：次表のとおり

13:30	司会：OECC 研修部会/(株) エイト日本技術開発 小坂 慎 開会挨拶：OECC 研修部会副部会長/いであ (株) 伊藤 光明
13:35	趣旨説明：OECC 特別参与 小野川 和延
13:50-14:30	“Opportunities and Challenges with Community-based Waste Management Systems in achieving SDGs” IGES Centre Collaborating with UNEP on Environmental Technologies (CCET) Senior Reseacher/Manager, Dr. D. G. J. Premakumara
14:30-15:10	本に載っていない廃棄物プロジェクト成功の秘訣-知恵を駆使したチャレンジ事例 OECC 理事/国際航業 (株) 土井 彰
15:10-15:50	有機系廃棄物の地域循環-おおき循環センターくるるんの事例- 福岡県大木町副町長 境 公雄



15:50-16:00	休憩
16:00-16:50	パネルディスカッション/成功事例から考える有機ごみの資源利用 モデレータ:OECC 小野川特別参与 パネリスト:各講師
17:00	閉会挨拶 OECC 研修部会長/廃コン協国際部会長/エックス都市研究所 齊藤 眞

## (2) JICA 集団研修への講師派遣

JICA 集団研修への講師派遣は、国際部会委員を中心に平成 29 年度は 2 度にわたり実施した。

- 実施日 : 平成 29 年 8 月 29 日 (火)、平成 30 年 1 月 24 日 (水) ~ 26 日 (木)
- 場所 : (独) 国際協力機構 JICA 東京
- 講義科目 : 廃棄物マスタープラン策定、最終処分場計画と事例紹介等
- 講師 :

一回目 小田 真之介委員 (国際航業 (株))、坂田 幸久氏 ((株) エックス都市研究所)、  
鶴見 悠史委員 (パシフィックコンサルタンツ (株))

二回目 小槻 倫子氏 (国際航業 (株))、杉本 聡委員 ((株) エックス都市研究所)、副田 俊  
吾委員 (日本工営 (株))、鶴見 悠史委員 (パシフィックコンサルタンツ (株))、  
濱田 善之助委員 (八千代エンジニアリング (株))

## (3) 関係団体、関係省庁との連携

日本廃棄物団体連合会の国際委員会は廃止され、環境省との連携チャンネルとなった (公財) 廃棄物 3R 研究財団を通じた環境省の循環産業海外展開施策との連携を図るとともに関係団体との交流、情報収集に努めた。また、国土交通省が主導する日露都市環境協議会の会合に出席し情報収集に努めた。

## (4) 海外案件に関する受注高調査

例年通り、海外案件に関する受注高調査を 3 月に実施した。

## 6. 協会運営に係る活動等

### (1) 協会会員企業とのコミュニケーション活動

日頃、協会とつながりが薄い、地方都市に本社のある会員会社等とのコミュニケーションの増進を図るため、3 県 5 社にわたり会長による会員企業への訪問行脚を実施した。

### (2) 公益法人制度改革への対応

公益法人改革法の規定に基づく公益目的支出計画に係る平成 28 年度分の公益目的支出計画実施報告書等を平成 28 年 4 月 21 日に内閣府の公益等認定委員会に提出した。平成 28 年度末の公益目的財産額は、2,653 千円である。当初は、平成 28 年度までの計画であったが、公益目的財産額の残余が発生したため、平成 29 年度まで計画期間を延長した。

### (3) 廃棄物コンサルタント業務の発展・改善に関する活動

#### ① 受注高調査の実施

平成 28 年度の受注高調査の結果は、すでに会報 78 号に掲載したとおりである。平成 29 年度受注高調査については、平成 30 年 3 月に調査票を送付した。

#### (4) 会報その他印刷物の刊行、広報活動

##### ① 会報の発行

平成 29 年度の会報は、平成 29 年 7 月(第 78 号)、平成 30 年 1 月(第 79 号)を発行した。会員、47 都道府県、112 市、環境省・地方環境事務所、関係団体等 440 部を送付した。

##### ② 会員名簿の発行

2017 年版会員名簿は、平成 29 年 6 月に発行した。関係機関、全国の地方自治体及び協会会員等に配布した。自治体へは、47 都道府県、市・23 区 807 カ所、組合等 680 カ所合計 1,500 余を送付した。

##### ③ その他の印刷物の発行

専門委員会の報告書、協会のご案内等を印刷し会員等へ配布した。

##### ④ ホームページの更新

ホームページを随時、情報更新したほか、平成 28 年度から「ご相談窓口」をトップページに設け、自治体等の相談にきめ細かく応えることとしている。

#### (5) 女性の活躍に資する活動

女性技術者懇談会(代表幹事：小梶 さやか((株)エイト日本技術開発、秦 三和子((株)エックス都市研究所)を 4 回開催し、女性を中心としたコンサルタント会社における働き方に関する調査、検討を行った。

#### (6) 倫理の向上等に関する活動

##### ① 倫理関連問題発生時の調査検討

協会会員の事業活動において、当協会の倫理規則に抵触するような実態が発生した場合倫理委員会として必要な調査を行い、検討結果を会長に報告することとなっているが、平成 29 年度の開催はなかった。

##### ② 倫理関連研修の開催

講師として応用地質(株)人事企画室主任 津野 洋美氏をお招きし、以下の講習会を開催した。

- 日 時：平成 29 年 9 月 19 日(火) 16:00～17:00
- 場 所：エッサム神田 1 号館 9F プレゼンルーム
- テーマ：「応用地質の働き方革命」
- 参加者：21 名

## 7. 表彰

### (1) 環境大臣表彰

本協会から推薦した本協会監事の友田 啓二郎氏((株)東和テクノロジー代表取締役)が、平成 29 年度循環型社会形成推進功労者大臣表彰(廃棄物浄化槽研究開発功労者)を受賞された。表彰式は、平成 29 年 10 月 9 日に三重県四日市市で開催された第 61 回生活と環境全国大会の中で執り行われた。友田氏には、後日、会長より協会副賞が授与された。

(2) 会長表彰

第5回定時総会において、以下の方々に会長から賞状と記念品が贈呈された。

【功労賞】

横田 裕史 協会理事 日本工営(株)  
 河本 光司 協会理事 応用地質(株)  
 宇佐美 雅仁 技術部会委員 中日本建設コンサルタント(株)

【功績賞】

以下の2グループの20名の方々に会長から賞状と記念品が贈呈された。

グループ名	ごみ処理施設整備計画・設計要領(2017年改訂版)に係る執筆作業部会 主査・副主査・若手コンサルタントグループ(13名)
氏名・会社名	1 総括主査 日高 彰 パシフィックコンサルタンツ(株) (3章 長寿命化計画の策定)
	2 主査 入佐 孝一 八千代エンジニアリング(株)
	3 副主査 萬條 和広 (株)建設技術研究所
	4 委員 藤満 基樹 東和テクノロジー(株)
	5 委員 山内 淳行 中日本建設コンサルタント(株)
	(4章 ごみ処理施設の整備に係る各種計画の策定)
	6 主査 中川 秀利 (株)エイト日本技術開発
	7 副主査 國安 弘幸 八千代エンジニアリング(株)
	8 副主査 眞鍋 和俊 応用地質(株)
	9 委員 中山 伸吾 (株)エイト日本技術開発
	10 委員 長谷川 亮 (株)環境管理センター
	(6章 ごみ処理施設建設工事の発注手続)
	11 主査 中石 一弘 (株)エックス都市研究所
12 副主査 長谷川 貴之 パシフィックコンサルタンツ(株)	
13 委員 渡邊 仁史 (株)NJS	

グループ名	女性技術者懇談会(7名)
氏名・会社名	1 代表幹事 小椋 さやか (株)エイト日本技術開発
	2 代表幹事 秦 三和子 (株)エックス都市研究所
	3 代表幹事 米田 理津子 パシフィックコンサルタンツ(株)
	4 顧問 石田 佳子 (株)環境技研コンサルタント
	5 委員 伊藤 依理 八千代エンジニアリング(株)
	6 委員 安庭 晶子 応用地質(株)
	7 委員 山岡 純子 (株)環境管理センター

8. 会員の動向

会員数 41社 (平成30年3月31日現在)

平成29年度は、入退会なし。

## 9. 会議

### (1) 総会 第6回定時総会

日 時	平成29年5月24日(水) 午後3時~4時
場 所	東京グランドホテル4階「芙蓉の間」
議 案	議案第1号 平成28事業報告について 議案第2号 平成28決算報告及び監査報告について 議案第3号 役員を選任について 議案第4号 名誉会員の推薦について
報 告	報告事項第1号 平成29事業計画について 報告事項第2号 平成29年度予算について
会長表彰	功労賞3名、功績賞2グループ20名

### (2) 理事会

① 第11回理事会 平成29年4月27日(木) 午後4時~5時 協会会議室

#### 【審議事項】

- 1 第6回定時総会について
  - 1) 第6回定時総会資料
  - 2) 公益目的支出計画実施報告書について
  - 3) 社員総会招集の決議について
- 2 定時総会及び講演会・懇親会の進行等について
- 3 平成28年度表彰審査結果について
- 4 その他

② 第12回理事会 平成30年2月21日(木) 午後4時~午後5時 協会会議室

#### 【審議事項】

- 1 平成30年度における会費区分について
- 2 平成30年度事業計画(案)及び平成30年度予算(案)について
- 3 公益目的支出計画終了後の公益目的事業対応について
- 4 第4期役員候補者名簿について
- 5 会員会社による会報の執筆分担について
- 6 会長表彰(功績賞)の選考方法について
- 7 年間スケジュールについて
- 8 その他

### (3) 常任理事会

- ① 第1回 平成29年6月21日(水) 午後3時~4時 協会会議室
- ② 第2回 平成29年9月19日(火) 午後2時~4時 エッサム神田
- ③ 第3回 平成29年12月11日(月) 午後3時~5時 協会会議室

- ④ 第4回 平成30年1月15日(月) 午後3時~4時 TKP 新橋 CC
- (4) 部会・委員会
- ① 総務部会 5回開催(4/20, 6/15, 9/12, 11/28, 2/9)
  - ② 対外活動部会 3回開催(7/19, 9/14, 12/5)
  - ③ 技術部会 5回開催(4/12, 7/27, 9/11, 11/24, 2/6)
  - ④ 国際部会 2回開催(8/22, 2/13)
  - ⑤ 中期行動計画2020推進委員会 4回開催(4/27, 6/21, 9/19, 2/21)
  - ⑥ 女性技術者懇談会 4回開催(7/6, 8/10, 9/21, 11/17)
  - ⑦ 表彰審査会 (4/27)